

令和元年度日本小児外科学会
第2回定例理事会議事録

日 時：令和元年 6 月 27 日（木） 11：00～16：00

会 場：AP 品川アネックス 1F A ルーム

出席者：田尻達郎（理事長）、増本幸二（副理事長）、山高篤行（会長・理事）、黒田達夫（時期会長・理事）、臼井規朗、金森 豊、野田卓男、浮山越史、大植孝治、田中 潔（以上理事）、窪田正幸（監事）、越永従道（前理事長）、藤野明浩（庶務委員長）、浦尾正彦（財務会計委員長）、照井慶太（庶務副委員長）、上原秀一郎（財務会計副委員長）、宮野 剛（庶務委員）、米田光宏（施設認定委員長）、小野 滋（専門医認定委員長）、古村 眞（専門医制度庶務委員長）、橋詰直樹（前会長付庶務委員補佐）、仁田尾慶太（事務局）

欠席者：八木 實（監事）、米倉竹夫（第 35 回秋季シンポジウム会長）、廣部誠一（第 36 回秋季シンポジウム会長）

議事案件：

議 事：

1. 田尻理事長より、理事長就任にあたっての挨拶があった。
2. 第2回定例理事会の議事録署名人は、大植孝治理事、田中潔理事とした。
3. 平成30年度第7回および令和元年度第1回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。

4. 審議事項

- 1) 第 56 回学術集会について（橋詰前会長付庶務委員補佐）

橋詰前会長付庶務委員補佐より、収支決算報告については現在取りまとめているところであるが、学術集会参加者数合計は1,252名であったことが報告され、了承された。なお、今後事前参加登録を採用する場合は周知方法を検討したほうがいいことについて確認された。

- 2) 第 57 回学術集会について（山高会長）

山高会長より、資料に基づき準備状況が報告提案され、以下のように承認された。

（1）海外招待講演としてDr. Kevin P. Lally (Professor and Chairman, Department of Pediatric Surgery, McGovern Medical School at UT Health and Surgeon-in-Chief, Children's Memorial Hermann Hospital)、Dr. Prem Puri (Newman Clinical Research Professor, University College Dublin and Editor-in-Chief, Pediatric Surgery International)、Dr. Arnaud Bonnard (Professor, Department of General Pediatric Surgery, Robert Debré Children University Hospital)を予定している。

（2）海外招待講演者のDr. Kevin P. Lallyを海外名誉会員に推戴したいと提案され、次回理事会で紹介資料を参考資料として提出の上、再度理事会で審議することとした。

（3）演題応募時の倫理的手続きについて会告に掲載して、会員へ周知することとした。

またHP上でも倫理的手続きに関するフローチャートを掲載して周知する。

3) 第 58 回学術集会について（黒田次期会長）

黒田次期会長より、資料に基づき準備状況が報告され、了承された。

日程：2021年4月28日（水）～30日（金）

会場：パシフィコ横浜ノース

テーマ：自然の臣たる無かれ

4) 第 36 回秋季シンポジウムについて（廣部第 36 回秋季シンポジウム会長代理田尻理事長）

廣部第36回秋季シンポジウム会長が欠席のため田尻理事長より、資料に基づき準備状況が報告され、了承された。

日程：2020年11月7日（土）

会場：一橋講堂

テーマ：手術の新しいデバイスと工夫

5) 第 37 回秋季シンポジウムについて（金森第 37 回秋季シンポジウム会長）

金森第37回秋季シンポジウム会長より、日程は2021年10月の最終週を予定していると報告された。

6) 令和元年度総合調整委員会日程について（増本副理事長）

増本副理事長より総合調整委員会の開催日程について提案があり、以下の通りとなった。なお、監事、前理事長は出席を求めないこととした。

総合調整委員会

第1回 令和元年8月22日（木）13：00～16：00

第2回 令和元年10月10日（木）13：00～16：00

第3回 令和元年12月11日（水）13：00～16：00

第4回 令和元年2月13日（木）13：00～16：00

また、田尻理事長より、以下の点について総合調整委員会に諮問された。

- ・学術集会のあり方について
- ・理事会のあり方について
- ・学会としての小児外科専門医の地域ごとの適正数の検討
- ・小児外科関連研究会の今後のあり方についての提言
- ・学生、若手医師のリクルート・育成するための具体的方策は何か
- ・海外における手術症例を利用した専門医・指導医育成システム作りについて

7) 各種委員会担当理事および委員長について（田尻理事長）

田尻理事長より各種委員会担当理事および委員長について提案があり、以下の通り承認された。なお、倫理・安全管理委員会については、委員会名を倫理・医療安全管理委員

会に改名することが承認された。委員のノミネートについては7月10日までに田尻理事長と事務局宛に連絡することとした。

庶務委員会：増本担当理事、藤野委員長

財務会計委員会：増本担当理事、浦尾委員長

機関誌委員会：大植担当理事、菱木知郎委員長

Pediatric Surgery International Publication Committee：大植担当理事、北川博昭委員長

国際・広報委員会：田尻理事長、淵本康史委員長

保険診療委員会：浮山担当理事、古田繁行委員長

教育委員会：大植担当理事、内田広夫委員長

悪性腫瘍委員会：大植担当理事、上原秀一郎委員長

学術・先進医療検討委員会：臼井担当理事、渡邊稔彦委員長

倫理・医療安全管理委員会：野田担当理事、木下義晶委員長

データベース委員会：田中担当理事、藤代準委員長

小児救急検討委員会：田中担当理事、澤井利夫委員長

ワークライフバランス検討委員会：浮山担当理事、森井真也子委員長

トランジション検討委員会：田中担当理事、田附裕子委員長

規約委員会：金森担当理事、内田恵一委員長

研究倫理委員会：野田担当理事、小野滋委員長

NCD連絡委員会：臼井担当理事、佐々木隆士委員長

ガイドライン委員会：金森担当理事、伊勢一哉委員長

利益相反委員会：金森担当理事、家入里志委員長

8) 新庶務委員について（田尻理事長）

田尻理事長より会長付庶務委員として順天堂大学の宮野剛評議員、理事長付庶務委員はおかないと提案があり、承認された。

9) 秋季シンポジウム委員会の内規の更新について（田尻理事長）

田尻理事長より秋季シンポジウム委員会のメンバーに前理事長を追加することが提案され、承認された。

10) 対外委員のメンバーについて（田尻理事長）

田尻理事長より、対外委員メンバーの提案がされ、承認された。なお、日本小児期外科系関連学会協議会への対外委員については、田口評議員に確認することとした。

日本医学会 評議員 田尻達郎

連絡委員 増本幸二

用語委員 大植孝治

日本小児医療政策研究会 田尻達郎

小児救急連絡協議会	田尻達郎 田中 潔
外科関連専門医制度委員会	田尻達郎 増本幸二 米田光宏 小野 滋
世界小児外科学会連合代表	淵本康史
外科系学会社会保険委員会連合（外保連）	浮山越史 古田繁行
外科関連学会協議会	田尻達郎 増本幸二
小児専門管理栄養士制度合同協議会	増本幸二
日本外科学会保険診療委員会	浮山越史 古田繁行
臓器移植関連学会協議会	星野 健
National Clinical Database	田尻達郎 田中 潔 臼井規朗 小野 滋

11) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会（藤野委員長）

藤野委員長より、資料に基づき報告がなされた。今期から庶務委員会の業務に会員の資格審査についての業務を加えることについて提案があり、承認された。

2019年5月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,750名（うち海外1名）、評議員324名、名誉会員57名（うち海外5名）、特別会員71名（うち海外1名）の合計2,202名である。

(2) 財務会計委員会（浦尾委員長）

浦尾委員長より、資料に基づき2019年度に発行する年会費請求書について、一般社団法人化に伴い、年会費口座の作成に半年以上かかること、事務局である学会支援機構で導入しているSMBCファイナンスサービスの年会費を使用すれば、払込取扱票に学会名を加えることはできないが、即時に年会費を請求できることが報告され、今年度に限り、SMBCファイナンスサービスの年会費を使用することが承認された。今まで通りゆうちょ銀行の年会費口座の新規申請は行い、2020年度の年会費請求はまたゆうちょ銀行のもので請求することが確認された。

(3) 専門制度委員会（米田施設委員長、小野専門医認定委員長、古村専門医制度庶務委員長）

米田施設委員長、小野専門医認定委員長、古村専門医制度庶務委員長より、資料に基づき、以下の点について報告があり、了承された。

- ・日本専門医機構からのサブスペシャルティ領域学会宛に基本領域との関係性についてのアンケートがあり、専門医制度各委員長で確認の上、回答した。
- ・施設申請、年次報告提出状況について報告された。7月10日に第1回施設認定委員会を開催予定である。
- ・個人申請について、新システムに変わるため、テスト入力を行っている。

(4) 機関誌委員会（大植担当理事）

大植担当理事より、資料に基づき新規投稿が減っていることや査読辞退者が多いことが報告され、評議員選挙に立候補される方は、査読を引き受けることを前提にはどうか、査読を引き受けた方へのインセンティブを設けてはどうかと意見が出された。また、タイからPSIに1件投稿があり、不採択とはなったが編集者への手紙という形で掲載することが報告された。

(5) 国際・広報委員会（田尻担当理事）

田尻担当理事および事務局より、ホームページリニューアルについて、会員ログインの連携で不具合が起きていると説明がされ、7月15日を目標に、また小児外科で治療する病気の刷新についても合わせて更新を行う予定であると報告された。

(6) 教育委員会（山高前担当理事）

山高前担当理事より、資料に基づき「奇形」を含む医学用語検討ワーキンググループ参加者の人選について、長崎大学小児科の森内浩幸先生から理事長宛に依頼があったと報告があり、教育委員会担当理事に就任した大植理事を推薦することとした。会議出席の予定が合わない場合は、教育委員会委員から代理を出すこととした。

(7) 悪性腫瘍委員会（田尻前担当理事）

田尻前担当理事より、資料に基づき日本がん治療認定医機構から「がん専門医制度に関するアンケート」の依頼があり、木下前委員長の方で回答を行ったと報告がされた。

(8) 学術・先進医療検討委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より、資料に基づき第56回学術集会のビデオ発表で優秀な発表をホームページの手術動画コーナーで公開予定であること、全国規模の学術アンケート調査の規定の改定を行い、現在規約委員会で文言の最終的な修正を行っていること、

HPに掲載している「小児外科で治療する病気」の改訂案について、前期の理事会から修正意見は無かったと報告があり、更新を進めると報告された。

(9) データベース委員会（山高前担当理事）

山高前担当理事より、資料に基づき以下の点について報告提案があり、承認された。

・藤代先生の今後の学会発表・論文(NCD データを用いた虫垂炎のドレーン留置に関する研究)について、学会発表前にデータベース委員会に報告をするよう依頼した。

・2019年のNCD データを利用した研究については前データベース委員会で審査を行うこととした。

・NCD データを利用した複数領域にまたがる新規研究課題公募について、8月末を締め切りとし、ご案内文書は前データベース委員会と新データベース委員会とで確認の上、近日中に会員に向けてアナウンスすることとした。

(10) 小児救急検討委員会（田尻理事長）

田尻理事長より、先日起きた山形県沖地震の際に、災害対策本部が立ち上がったことが報告された。委員会メンバーが変わるため、次回理事会後に ML リストの更新を行うこととした。

(11) ワークライフバランス検討委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より、資料に基づき第56回学術集会で委員会で行ったアンケートを発表し、このアンケート調査に協力いただいた京都大学外科交流センターのHPに背景因子のみ人数のアンケート結果を掲載したと報告がされた。京都大学のHPにアンケート結果が載るのは好ましくないため、まずは取り下げていただく方向で連絡することとした。

(12) NCD 連絡委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より、資料に基づき以下の点について報告提案があり、承認された。

・NCD への追加・変更要望術式

2020年度の追加・変更要望術式をメールにて学会員に告知し6月14日締め切りで募集した。

1)追加要望： 梨状窩瘻化学的焼灼術・・・1件のみ

委員会で審議を行ったところ、「梨状窩瘻化学的焼灼術はトリクロール酢酸を使用した焼灼術と思われるが、医薬品ではなく有害物質指定を受けている「試薬」であるトリクロール酢酸を用いた焼灼術は、保険未収載で重篤な合併症もありうるため、日本小児外科学会としてこの術式を公認してNCD術式として要望することはできない」との意見で却下された。

2)術式名修正要望： 昨年追加されたNQ0730「腹腔鏡補助下経皮的内視鏡下胃瘻造設術」の名称を、「腹腔鏡補助下胃瘻造設術（経皮的内視鏡下，経皮的，開腹併

用を含む)」に修正する要望・・・1件のみ

委員会で審議を行ったところ、「現在、OQ0155 胃瘻造設術（開腹）、NQ0730 腹腔鏡補助下経皮的内視鏡下胃瘻造設術、OQ0412 胃瘻造設術（経皮的）、OQ0156 胃瘻造設術（内視鏡下）の4術式が採用されているが、腹腔鏡補助下に胃瘻を造設する場合で、かつ経皮的内視鏡下に行わない術式の選択に困るため、NQ0730の名称を修正するのが妥当」と判断された。

・NCD 自施設データ利用の許可

2019年5月以降、2施設からNCD参加各施設からの小児外科専門領域に関する自施設データダウンロード利用許可申請があった。委員長を中心に委員会で審議・検討のうえ、2施設に対して2013年～2017年の自施設データダウンロードを許可した。

・リスクカリキュレータ（医療品質評価）

高難度12術式に関するリスクモデルの論文“Development and validation of risk models for mortality and morbidity in 12 major pediatric surgical procedures: A study from the National Clinical Database-Pediatric of Japan”が完成したので、データベース委員会で審議していただくべく提出予定である。

※ 今後は、DB委員会・理事会で投稿の許可を得たのちJPSに投稿し、論文がacceptされれば、リスクカリキュレータを実装する予定。

・Q&A集の更新

2019年5月以降、NCDおよび小児外科学会にあった新しい問い合わせ1件に対して、メール審議を行ったうえでQ&A集を更新した。

・新生児外科全国集計に係る費用について

NCDに解析費用について照会したところ、1年間の解析費用に25万～26万程かかり、1回の事務管理費に5万円ほどかかると報告があり、委員の人的コストが削減されるため、NCDに依頼をする方向で進めることとした。

(13) ガイドライン委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、資料に基づき「腸回転異常症診療ガイドライン」作成および委員推薦の依頼文書を、日本小児救急医学会宛に送ったことが報告された。

(14) 日本外科学会理事会（越永前理事長）

越永前理事長より、資料に基づき6月17日にNCDの理事会が開催され、NCDの事務所が移転すること、電子カルテメーカーが行うアップロードシステムの構築が決まったこと等が報告された。また、日本医学会連合定時総会が6月18日に開催され、会長に門田守人先生が選出されたと報告された。

(15) 四者協（越永前理事長）

越永前理事長より、資料に基づき日本小児期外科系関連学会協議会に分担金として

毎年 1 万円支出しているが、旅費は日本小児外科学会から負担しているという運用がよくないのではと前期の理事会で議論され、1 年間に日本小児期外科系関連学会協議会での会議での旅費支出を試算したところ、45 万ほどであり、今後は旅費を日本小児期外科系関連学会協議会の口座から出すことを前提に、分担金を 40 万円に増額することが提案され、承認された。また、今後は評議員会での報告を日本小児期外科系関連学会協議会の会長から行うことが確認された。

5. 報告事項

1) 理事長報告（田尻理事長）

(1) 第 1 回メール審議報告（悪性腫瘍登録データの研究結果の公表について）について、全会一致にて承認されたことが報告された。

(2) 日本がん治療認定医機構からの寄贈本『JBCT ニュース』vol.6』を受領した。

(3) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニューズレターNo.191」を受領した。

(4) 日本医療機器産業連合会からの寄贈本「透明性ガイドラインの改定のお知らせ」を受領した。

(5) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「救急医療における画像診断に係る死亡事例の分析」を受領した。

(6) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「入院中に発生した転倒・転落による頭部外傷に係る死亡事例の分析」を受領した。

(7) 日本麻酔科学会からの通信文「理事長交代のお知らせ」を受領した。

(8) 日本救急医学会からの通信文「理事長交代のお知らせ」を受領した。

(9) 日本泌尿器科学会からの通信文「理事長就任あいさつ」を受領した。

(10) 外科関連学会協議会からの通信文「患者プライバシー保護に関する指針の追加賛同学会について」を受領した。

(11) 日本医学会からの通信文「チサゲンレクルユーセルの最適使用推進ガイドラインについて」を受領した。

(12) 日本医学会からの通信文「ペムプロリズマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドラインの一部改正について」を受領した。

(13) 日本医学会からの通信文「ニボルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドラインの一部改正について」を受領した。

(14) 日本医学会からの通信文「エボロクマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドラインの一部改正について」を受領した。

(15) 日本医学会からの通信文「高齢者の医薬品適正使用の指針（各論編（療養環境別））について」を受領した。

2) 次回定例理事会日程の確認（田尻理事長）

次回理事会は令和元年7月25日（木）11：00～16：00 大阪大学東京オフィスにて開催することが確認された。

理事長 _____

理事 _____

理事 _____